

科目名	修士T A実習 1・2		開講学期	前・後
英文科目名	Teaching Assistant Program 1・2		単位数	各 1
担当教員	全教員	メール		

授業の目的・方針
工学部開講科目のうち、主に実験、実習を含む基礎的科目を対象に、学部学生の学力に応じたきめ細かい指導（教育補助的な役割）を行うことにより、基礎学力の強化、向上をはかる。あわせて、学部学生の指導を通して、指導力およびリーダーシップの養成をはかる。

授業の達成目標（この授業科目終了時において達成すべき重要な目標）
この授業科目終了時において達成すべき重要な目標は次の事項である。 ①基礎科目の内容を十分理解し、正確に教授できる能力を身につける。 ②演習や実験などで、学部学生の意欲を引き出すコミュニケーション能力を身につける。 ③学部学生の意欲的な学習を誘導するような指導力を身につける。

成績評価の方法〔評価対象となる授業の達成目標〕
履修者は、毎回勤務報告を記録し、学期後所定の書式による報告書を作成し、期日までに授業担当教員に提出する。授業担当教員は、報告書等を基に可否の判定を行う。不合格の場合には、再度履修することができる。

資料
担当教員の指示に従い、作成する。

学習上の注意事項
担当科目は原則として、学期途中では変更できない。但し、やむを得ず変更する場合には教務委員会の承認を経ること。 T Aとして従事する時間は、授業担当教員に委ねられるが、下限勤務時間数として 15 時間以上の勤務が義務づけられる。社会人学生、留学生も T A実習 1、2 は必修科目とする。

授業計画		
	期間	内容
	各学期	修士課程の入学時に「個別履修プログラム」を作成し、それに基づき実施する。各授業（講義、実験、演習、プロトタイピング実習）担当教員が T A 人数を提案し、全学生が応募する形をとる。この際、指導教員と「個別履修プログラム」を立案しそれに基づいて決定する。各学期においての実習時間は、15 時間以上とする。